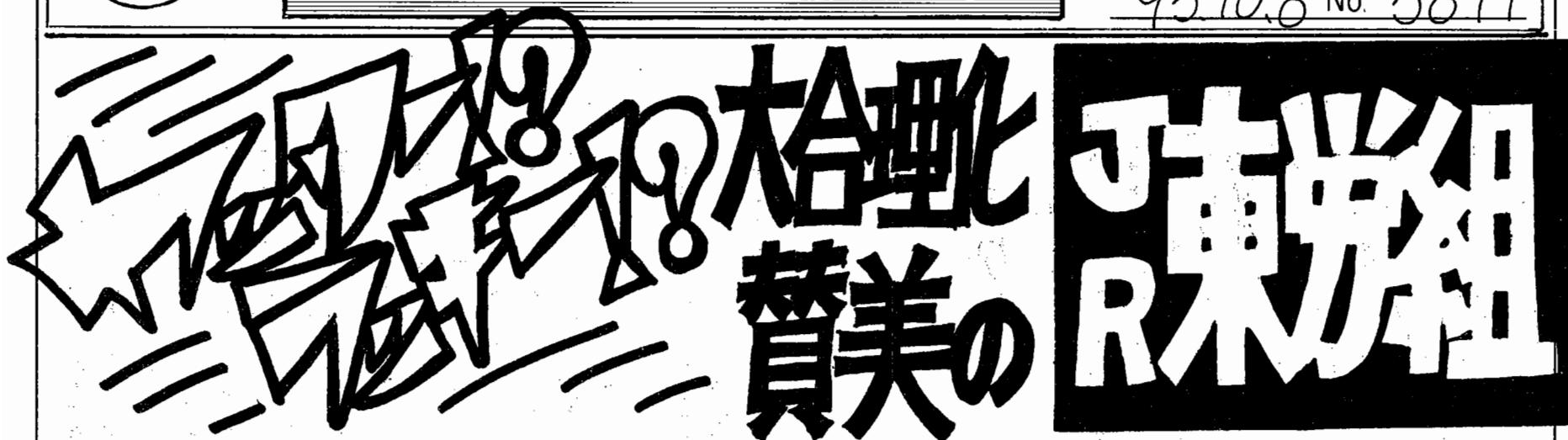




日刊労働千葉



12.1ダイ改阻止へ 全力で大起しよう

十二・一ダイ改「時短」に
向けて、JR東労組は、今まで
以上に、資本の手先・合理化推
進の合唱隊としての姿を明らか
にしている。当局の進める「新
たな十万人首切り攻撃」に全面
協力することで、「東日本だけ

は切り捨てないでくれ」と懇願
しているのだ。「これ以上労働
強化されたら殺されてしまう」
という現場の叫びを押し潰すこ
とと、自らの保身を取り引きし
ようとしているのだ。

何が「ヤツタ」「ラ ツキ」だ。現場の 怒りの声を聞け

「必要な要員は
確保した」など
は大ウソだ。

合理化推進を申し出ているのだ。
組合員をペテンにかけて当局と
手を結ぶ、これがJR東労のや
り方だ。

「労働者のど口先三寸でごまか
せばどうにでもなる」という、
旧勤労以来の労働者べつ視の思
想があらわれている。

労働時間短縮に関する覚書(第2次)

労働時間の短縮について、これまでの経過を踏まえ、「労働時間短縮に関する覚書(平成3年4月12日交換)」に示されている目標の一層の深化、及び当面の目標の掲げ実施を以下のように行うこととする。

1 労働時間の短縮にあたっては、健全で安定した経営基盤の確立が図られることが必須の要件であり、このため、労使は一致協力して、効率化・機械化・システム化などを進める等、絶ゆまぬ経営改革に取り組むこととする。

2 これらの基本認識の下、労働条件全体の観点から経営の実情等を勘案しつつ、年間総労働時間1,800時間へむこととし、当面の目標としてする。

東日本旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 住田正二
の動向
まり組
均

3 平成5年度においては、前段により労働時間短縮を行う。

東日本旅客鉄道労働組合
中央執行委員長 松崎 明容

平成5年4月20日

これが合理化推進の「覚書」だ!

この間、東労
・松崎は、組合
員の前では、「
これ以上の効率
化・労働強化の
推進を自ら申し
出したのだ。

り組む」という
ものだ。つまり
以上の合理
化・労働強化の
推進を自ら申し
出したのだ。

小選挙区制・改善攻撃粉碎・PKO侵略派兵反対・細川政権打倒! 10.21全国統一行動
とき 10月21日(木) 18時から
ところ 東京六本木・三河台公園
指定列車 千葉駅10番線、一六時四四分発快速
とき 10月24日(日) 12時から
集会 成田駅改札前 10時30分集合

当面するスケジュール

反合・運転保安運動を!